

平成29年度第2回学校評議員会

1 期 日 平成30年2月7日(水) 14:00~15:00

2 場 所 本校視聴覚室

3 出席者

評議員 佐藤 純 氏 (前同窓会長)
佐藤 順 氏 (福岡中学校校長)
沢田 光広 氏 (元PTA会長)
長谷川 美恵子 氏 (元母親委員)

学校職員

片岡 順一 (校長)
細谷 正憲 (副校長)
菊池 好行 (事務長心得)
朝倉 衛 (総務部長)
坂川 章浩 (教務部長)
桑畑 義行 (生徒指導部長)
鳥居 郁夫 (進路指導部長)
小笠原 常雄 (総務部員)

4 学校側の説明

学校長

- ・3年生の進路もほぼ決定し、1・2年生も各方面で活躍している。
- ・当初の教育目標の70~80%は実現できたと考えている。
- ・新校舎の整備については、本年4月から仮設校舎の建設が始まり、9月初旬に引越し、10月から現校舎の解体が行われる計画で設計が進められている。

総務部(朝倉)

- ・PTA総会の開催時間を保護者が参加しやすい時間帯に変更して2年目であるが、今年度も17%台の出席率となった。更なる参加率の向上を目指したい。
- ・母親委員会の協力により福工祭の食堂運営がスムーズにできた。
- ・PTA研修旅行は11名の参加者で久慈琥珀へ行った。
- ・夏休み明けには、朝の挨拶運動を実施し、3日間で延べ15名の保護者の方が参加した。

教務部(坂川)

- ・長期欠席者が数名いるが、その他の生徒はほとんど休まずに勉学やクラブ活動、資格取得等に励んでいる。
- ・観点別学習評価に即した授業改革は2年目を迎え、定着が図られた。

- ・ 考査前の放課後学習は、自学自習の習慣付けに効果があった。

生徒指導部（桑畑）

- ・ 今年度は「生徒一人ひとりの命を大切にし、人権を守る」という観点から、新たに年2回の保護者を対象とした「いじめアンケート」を実施した。いじめと思われる案件は早急に対応した結果、重大事態に発展したものはない。
- ・ 夏休みに問題行動が多発し、同じ生徒が複数回指導された事は残念である。
- ・ 各部の活動でも東北大会や全国大会へ数多く出場できた。
- ・ 次年度は、外部講師を招いて SNS の講演会を実施したいと考えている。

進路指導部

- ・ 現在、進学などで結果待ちの生徒もおり、進路決定100%に達してはいないが、求人数では地元企業が増加しており、管内内定者が昨年度と比較して微増した。
- ・ 管内就職希望者に対しては、地元企業の説明会などに積極的に参加させている。

5 評議員からの主な質問

- ① 芸術鑑賞は古典落語だったが生徒の反応はどうであったか。
(回答) 楽しんでいただけたようだった。
- ② 以前は進学者が20%位あったが、ここ数年減少しているのはどのような理由からか。
(回答) 企業からの求人が増加して就職しやすい環境があることと、入学してくる時点で、就職を希望している生徒が増えているからだと考えられる。

6 評議員からの感想と提言

- ① 恒例となった市内の中学校への出前授業が、今年はみだけ支援学校二戸分教室でも行われたことは、相互の生徒にとっても良いことだと思う。今後ともぜひ継続していただきたい。
- ② 中学校での進路指導を、高校卒業まで見据えて深く掘り下げたものにしていき、高校入学後にしっかりとした目標を維持して生活出来るように導きたい。
- ③ 企業では、リーダー格になれる人材を必要としているので、自分の考えや意見を述べる表現力を身に付けた生徒の育成を期待している。
- ④ 「高校生ものづくりコンテスト」で東北大会や全国大会まで出場出来たことは大変すばらしい成果である。
- ⑤ 頑張っている生徒が多く、その活躍が新聞等に掲載される機会も他校と比較して多いと感じている。夏と冬の「親子電気工作教室」は、指導してくれる生徒の懇切丁寧さが好評で、参加した親子から口コミで広がり確実に定着してきている。体験した小学生が中学校へ進学した後、工業高校へ入学を希望する生徒も出てきている。